

I 教育目標

<ul style="list-style-type: none"> ◎考える子 ○がんばる子 ○じょうぶな子 ◎思いやりのある子

II 経営方針

目指す学校像	<ul style="list-style-type: none"> ○【こども】自分らしさを発揮できる学校 ○【保護者】こどもの成長が実感できる学校 ○【地 域】信頼できる学校 ○【教 員】働きがいとやりがいのある学校
目指す児童像	<ul style="list-style-type: none"> ○自ら学ぶ姿勢をもち、自力解決や学び合いにおいて自分の意見を形成できるこども ○自分の生き方を考え、その実現に向けて努力するこども ○よりよい生活や自分の成長に関心をもち、規則正しい生活習慣を身に付けるこども ○自他の違いを認め、他人を思いやり、互いに尊重し合うこども
目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> ○「江東区こどもの権利に関する条例」を十分理解し、こどもたちの知・徳・体にわたるバランスの取れた成長を目指す教師 ○こどもたち一人一人の主体的な学びを支える伴走者としての役割を果たし、こどもの資質・能力を最大限に引き出す教師 ○学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、高度な専門職としての自覚をもち、学び続ける教師 ○学校組織の一員として、教職員一丸となって協力できる教師
経営理念	<p>「江東区こどもの権利に関する条例」を踏まえ、こどもたちの人格形成に関わるものとして、かとりを大切にする。</p> <p>かがやけ . . . こどもたち一人一人が自分らしく輝くことができる教育を行う。</p> <p>ともに . . . 同じ地域の異年齢のこどもたちが集う場所である公立学校のよさを生かし、互いに理解し、尊重し合いながら自他ともに成長できる教育を行う。</p> <p>りそうの自分へ . . . かけがえのない存在である「自分」に対して理想像をもち、自己選択・自己調整を重ねながら粘り強く取り組む教育を行う。</p>

III 経営目標

重点領域1	豊かな心
中期経営目標	自他の違いを認め、他人を思いやり、互いに尊重し合う心を育む
短期経営目標	様々な人権課題に係る差別意識の解消を図るための教育を推進する。

項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	教職員の対応力を高め、「江東区立香取小学校いじめ防止基本方針」に基づく取組を確実にを行うために、いじめ未然防止・対応ミニ研修を月1回実施する。	全児童がいかなる理由があってもいじめは絶対にいけないと認識している。
2	心理的安全性の高い学習集団及び人間関係を形成するために、前期前半に実施する学級における生活意欲や満足度、ソーシャルスキルの状況に係る質問紙調査結果を児童理解に生かす。	児童アンケートで「学校生活は社会や学校のルールが守られ、安全・安心に過ごすことができている」と回答する児童を90%以上にする。
3	教職員の人権意識の醸成啓発を図るために、「人権感覚チェックシート」等を活用した人権教育ミニ研修を月1回実施する。	児童アンケートで「友達や他の人を大切にし、思いやりをもって接している」と回答する児童を90%以上にする。
4	異学年及び特別支援学級の交流を月1回以上実施する。	児童アンケートで「交流活動では協力して楽しく過ごすことができた」と回答する児童を90%以上にする。

重点領域2		確かな学び
中期経営目標	自ら学ぶ姿勢をもち、自力解決や学び合いにおいて自分の意見を形成できる子を育てる	
短期経営目標	深い学びの実現を図る授業改善を推進する。	

項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	全教員で「こうとう学びスタンダード」「香取スタイル」を踏まえて授業を振り返る機会を月1回以上設定する。	児童アンケートで「自分の意見・考えをもって学習に取り組むことができた」と回答する児童を80%以上にする。
2	デジタル技術を活用した自力解決や学び合いの場面を全教員が100%実施する。	児童アンケートで「授業中、自分の意見・考えを発信することができた」と回答する児童を80%以上にする。
3	朝チャレ及び放課後学習教室を計画通りに全学級で100%実施する。	児童アンケートで「授業で学んだことを学習や日頃の生活の中で生かすことができている」と回答する児童を90%以上にする。

重点領域3		個に応じた教育
中期経営目標	自分の生き方を考え、その実現に向けて努力する子を育てる	
短期経営目標	自己調整場面の推進を図る。	

項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	教職員の指導力の向上を図るために、児童の自己肯定感を図ることをねらいとしたミニ研修を月1回実施する。	児童アンケートで「今の自分が好きだ」と回答する児童を90%以上にする。
2	主に学校行事や特別活動において、児童が自己選択・自己調整を図る場面を全学級で100%設定する。	児童アンケートで「自分の理想の姿や目標達成を目指して、一定程度の努力をすることができた」と回答する児童を85%以上にする。
3	児童に夢や希望、憧れる自己イメージを獲得させることをねらいとした地域や外部人材を活用した授業を全学年、年1回以上行う。	児童アンケートで「夢や希望、憧れる自己イメージを持っている」と回答する児童を85%以上にする。

4	地域を愛する児童を育成するために、地域行事や地域ボランティアへの参加を月1回以上促す。	児童アンケートで「地域やPTAの行事に進んで参加した」と回答する児童を80%以上にする。また、「地域やPTAの方に感謝の気持ちを伝えることができる」と回答する児童を85%以上にする。
---	---	---

重点領域4		健やかな体
中期経営目標	よりよい生活や自分の成長に関心を持ち、規則正しい生活習慣を大切に育てる	
短期経営目標	体力向上や生活習慣の改善を図る取組を推進する。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	全学級で毎日、中休み（20分間）において外遊びに取り組みさせる。	休み時間に校庭で遊んでいる児童を100%にする。
2	児童が自分の健康の維持増進に努めることができるよう、食育や睡眠に関する指導を年5回以上実施する。	児童アンケートで「栄養のバランスを考えて食事をしている」、「8時間以上の睡眠をとっている」と回答する児童を80%以上にする。
3	ねらいを明確にした体育科の授業を全学級で100%実施する。	児童アンケートで「体育科の授業でできるようになったことが増えた」と回答する児童を90%以上にする。

重点領域5		地域・家庭・教職員組織の連携・協働
中期経営目標	地域・保護者との信頼関係及び児童の学びを支える教職員組織力の向上を図る	
短期経営目標	こどもの育ちを支える環境を改善する。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	年間を通して、週3回以上、学校ホームページで学校の様子を発信する。	保護者の学校評価アンケートの回答率を70%以上にする。
2	年間を通して、校内イントラを活用した会議を精選するとともに、ねらいを明確にした話し合いを行い、会議の時間を短縮する。	教職員アンケートで「教材研究等の時間に費やす時間が確保できた」、「退勤時刻が改善した」と回答する教職員を90%以上にする。
3	学年会や、特別支援コーディネーター等を活用したケース会議等の定期開催（10回以上）・臨時開催で課題解決を図る。	教職員アンケートで「学校は組織力を生かして諸問題の解決を図っている」と回答する教職員を90%以上にする。